

# 復習シート 第3学年 英語



組

番号

名前

## 模範解答

（「書くこと」を問う問題）

- 1 次の（1）～（4）の日本語の意味を表すように、ア～エを並べ替えて英文を作りなさい。そして、それぞれの答えで2番目と4番目にくる語句を選びなさい。（文の始めにくる語も小文字になっています。）

（1）あなたのお父さんはその時テレビを見ていましたか？ **レベル8・9**

【 ア your father イ watching ウ was エ TV 】 then?

<解説> ※過去進行形（was/ were + 動詞の～ing）の疑問文

Was your father watching TV then?

2番目	4番目
-----	-----

ア

エ

（2）私の夢は先生になることです。 **レベル9・10**

My dream 【 ア be イ is ウ a teacher エ to 】.

<解説> ※to be a teacher 「先生になること」 不定詞(名詞的用法)

My dream is to be a teacher.

2番目	4番目
-----	-----

エ

ウ

（3）あなたのクラスで誰が一番速く走りますか。 **レベル11・12**

【 ア runs イ who ウ fastest エ the 】 in your class?

<解説> ※ Who + 動詞(s) 「誰が～しますか？」

the fastest 「一番速く」（最上級の文）

Who runs the fastest in your class?

2番目	4番目
-----	-----

ア

ウ

（4）駅の近くにたくさん家があります。 **レベル11・12**

【 ア near イ are ウ there エ a lot of オ houses 】 the station.

<解説> ※ There are ~ 「～がある」

There are a lot of houses near the station.

2番目	4番目
-----	-----

イ

ウ

2 次の表の（1）～（3）は、英語の先生の Mr. Smith に関する現在の情報です。これらの情報を用いて、彼について説明する英文をそれぞれ書きなさい。 **レベル 11**

- (1) 住んでいる都市 . . . Osaka
- (2) 年齢 . . . 35 歳
- (3) 趣味 . . . テニスをすること

(例)

**He (Mr. Smith) lives in Osaka.** (彼は大阪に住んでいます。)  
**He (Mr. Smith) is 35 years old.** (彼は 35 歳です。)  
**His hobby (Mr. Smith' s) hobby is playing tennis.**  
(彼の趣味はテニスをすることです。)

3 次の英文を読んで、英文の空欄に当てはまるような英語の文を自分で考えて書きなさい。

Japanese children use a smartphone too much \*these days. Some people say children shouldn't use a smartphone because .

**レベル 12**

\* these days 最近

(例) この文は子供たちがスマートフォンを使うべきではないという人の考えの内容となる

<b>they don' t (should) study</b>	彼らは勉強しない (すべき)。
<b>their eyes become bad</b>	目が悪くなる。
<b>they should read more books</b>	本をもっと読むべき。
<b>they don' t (can' t) sleep (enough)</b>	彼らは (十分に) 寝ない (寝れない)
<b>it causes troubles</b>	トラブルを引き起こす。

a smartphone が主語になる場合は it に置き換わる。

4 海外からの留学生があなたの中学校に来ました。英語の授業でその留学生にあなたの学校のことを英語で伝えることになりました。どのように学校についての説明をしますか。1文の英語で書きなさい。 **レベル 12**

(例)

**We have a sports day ( chorus contest) in September.** 9月に体育祭があります。  
**There is a teacher' s room on the second floor.** 2階に職員室があります。

〇〇〇があります、という場合は We have 〇〇〇 か  
there is 〇〇〇という表現になる

**We have a tennis club .** テニス部があります。  
**We must not bring a smartphone.** スマホを持ってきてはいけません。

規則に関しては must ~ しなければいけない must not ~ してはいけませんが使える